

令和元年度事業報告

事業概要

シルバー人材センターは、定年退職者等、健康で働く意欲のある高齢者がその知識と経験を活かし、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会をとおして、社会参加と生きがいの充実を図るとともに、生活の安定及び活力ある地域社会づくりに寄与することを大きな目的としています。

近年、高齢化社会が進展する中、多様化する発注者及び会員ニーズに的確に対応すべくセンターの果たす役割はますます重要になっていると認識しているところです。

こうした観点から、役職員及び会員が丸となって事業推進に努めてまいりました。

令和元年度は、第三次中期事業計画（3カ年）の2年目に当り、各数値目標の達成に向けて取り組みをしたところですが、請負委任就業延人員（目標値30,281人日）、ボランティア活動（目標値384人日）については、目標値を達成したものの、会員数（目標値518名）、就業率（目標値88%）及び派遣事業就業延人員（目標値2,958人日）については、目標値を達成することができませんでした。

令和元年度の事業実績（派遣事業除く）については、会員数が489名（男性308名・女性181名）、受注件数が1,190件、契約金額が219,121,314円、就業延人員が33,039人日、就業率72.8%、ボランティア活動延人員396人日の実績となりました。

前年度との比較においては、契約金額、受注件数、ボランティア活動の延人員については、それぞれ実績増となったが、会員数、就業延人員、就業率では実績減となった。会員の状況については、新規会員が47名（男性31名・女性16名）に対して、退会者が58名（男性34名・女性24名）で、結果として前年度（500名）より11名減の489名となりました。会員確保の取り組みとして令和2年3月に新企画の「女性会員施設見学研修」を予定していたが、「新型コロナウイルス感染予防対策」として中止となったことが残念でした。

訪問家事援助事業（新総合事業）については、受注件数60件（名）、就業延人員2,260人日、契約金額2,966,752円となり、前年度より受注件数は減少したものの就業延人員、契約金額では実績を伸ばすことができました。

労働者派遣事業については、前年度に引き続き、沖縄県連合と緊密な連携を図り、事業を推進したところであります。実績については、前年度の14派遣事業者から令和元年度は10派遣事業者と4社の減少もあったことから、受注件数、契約金額、就業延人員といずれも減となりました。

また、令和2年1月頃から発生した「新型コロナウイルス」の感染拡大は、瞬く間に全世界に広がりを見せ、市民の健康、また社会経済にも大きな影響をもたらせた。特に、高齢者が感染すると重症化する傾向にあることから、本市シルバー人材センターでも、「新型コロナウイルス感染防止対策」として「手洗い」「うがい」「人ごみを避ける」等の周知徹底を図り健康管理に留意するよう呼びかけました。

なお、各事業内容の状況については、次のとおりとなっています。

事業実績

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

- ① 第三次中期事業計画の各数値目標を達成するため、企業や公共機関、一般家庭等からの受託事業により就業機会の確保・提供、拡大を図るとともに入会促進を図った。

第三次中期事業計画(目標値と実績)

	実績	目標値	達成率
会員数	489名	518名	94.4%
就業率	72.8%	88.0%	82.7%
就業延人員(請負委任)	33,039人日	30,281人日	109.1%
就業延人員(派遣事業)	2,019人日	2,958人日	68.3%
ボランティア活動	396人日	384人日	103.1%

② 事業実績(前年度との比較)

	令和元年度	平成30年度	前年度比較	前年度対比
会員数	489名	500名	△11名	97.8%
受注件数	1,190件	1,116件	74件	106.6%
契約金額	219,121,314円	206,134,143円	12,987,171円	106.3%
就業延人員	33,039人日	33,119人日	△80人日	99.8%
就業率	72.8%	79.8%	△7%	91.2%
ボランティア活動	396人日	377人日	19人日	105.0%

③ 福祉・家事援助サービス事業の拡大を図るとともに訪問家事援助事業(新総合事業)も積極的に取り組んだ。

訪問家事援助事業

	令和元年度	平成30年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	60件	71件	△11件	84.5%
契約金額	2,966,752円	2,585,700円	381,052円	114.7%
就業延人員	2,260人日	1,989人日	271人日	113.6%

④ 就業の提供にあたっては、均衡化・適正化を図る観点からグループ就業やローテーション就業の推進に努めた。

⑤ 独自事業は、会員がその知識と経験・技能を生かし、企画・運営、創意工夫により就業機会の創出を図る事業であるが、実績を上げるまでにはいたらなかった。

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行う形態であるが、今年度は希望する高齢者がいなかった。

② 労働者派遣事業

会員の就業機会の拡大を図るため、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で労働者派遣事業（事業所8社・公共2ヶ所）を実施した。
 なお、事業実績については、③の表のとおりです。

③ 労働者派遣事業

	令和元年度	平成30年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	91件	110件	△19件	82.7%
契約金額	12,151,580円	16,731,820円	△4,580,240円	72.6%
就業延人員	2,019人日	2,845人日	△826人日	71.0%

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会を開催した。

① 対象：正会員・一般市民

② 講習内容

ア 刈払機・チェーンソー・トリマーの技能講習会を実施した。 R 2 / 2 / 2 1
 （場所：シルバー会議室及び2F広場で刈払機の安全点検 参加者22名）

イ 清掃業務の技能講習会 3月に計画していたが、
 ※「新型コロナウイルス感染予防対策」として中止とした。

ウ クロキの剪定技能講習会を実施した。 R 1 / 1 1 / 2 2
 （場所：シルバー事務所前広場 参加者 会員12名 一般8名 計20名）

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

効果的かつ効率的な普及啓発活動を推進するため、一般市民、事業所、官公庁等への普及啓発活動を行った。

ア 市広報誌を活用し、毎月、入会促進及び就業拡大について記事を掲載した。

イ 市役所案内コーナーに来客用としてチラシを常時置くとともに、各課にはチラシの配布を行った。

ウ シルバーだより「とよむ」を発行（1,000部×1回・1,500部×1回）し、会員及び市役所・市立中央公民館・市立中央図書館、並びに関係機関に配布した。

エ シルバー事業普及啓発促進月間（10月）行事の一環として、市役所ロビーにてパネル展（R 1 / 1 0 / 7 ~ 1 1）を開催した。

カ 市教育委員会主催の生涯学習フェスティバルにボランティア活動として参加し、子ども達や来場者に豆腐づくりの体験学習の機会を提供するとともに、普及活動を行った。

キ 自主・自立の基本理念に基づき、会員主導の意識強化を図るため普及啓発部会を開催した。（3回）また、地域班長・副班長会議を開催した。（4回）

ク 就業現場でのぼり旗を掲揚し、普及活動を行った。

ケ 新春交流もちつき大会（R 2 / 1 / 1 0）を開催し、普及活動を行った。

コ ホームページを活用し、センターの情報発信を行った。

② 安全・適正就業の推進

会員の健康維持及び、安全・適正就業の確保を図るため、安全意識の高揚と啓発活動を行ったが、残念ながら4件（前年度2件）の事故が発生した。

- ア 安全掲示板を設置して無事故日数を表示し、安全意識の高揚を図った。
- イ 安全就業・健康管理の周知徹底を図るため、安全・適正就業推進大会（7月）を開催した。（場所：豊見城市社会福祉センター（2F） 参加者101名）
- ウ 安全就業委員を各職群班から選出し、安全・適正就業の意識高揚に努めた。
- エ 安全就業委員会を開催（3回）した。
- オ 機械・器具等の事前・事後の点検及び整備の強化を図った。
- カ 就業に必要な安全防具・防護ネット・立看板・パイロン等の整備に努めた。
- キ 会員の健康保持・増進及び生活習慣病の予防を図るため、特定検診の受診を促進した。
- ク 安全就業推進員を配置し、現場の見積り時点で安全性の確認を行った。
- ケ 毎朝、就業前に事務所前広場において、全員で一斉にラジオ体操を行い、安全就業推進員から当日の健康管理と安全・適正就業等に対する意識高揚を図った。
- コ 安全就業推進員による安全パトロール（354カ所）及び県連合（安全・適正就業パトロール指導員）との同巡回指導（11回）を実施した。
- サ 理事長・事務局長による安全パトロール（12回）を実施した。
- シ 安全就業委員による安全パトロール（12回）を実施した。
- ス 「安全就業基準不履行等会員に対する減点措置制度」（ペナルティ制度）を周知し、安全に対する意識の高揚を図った。
- セ 「新型コロナウイルス感染予防対策」として、毎朝「うがい」「手洗い」「人ごみを避けましょう」の注意喚起を図った。

③ 調査研究

シルバー事業を発展・拡充するため、第三次中期事業計画の各目標値等の実績及び事業の実績等について検討した。シルバー人材センター事業の発展には、やはり会員の確保が重要である。会員数の目標値において、平成30年度は目標値を達成したものの、令和元年度は厳しい状況が予想された。このことから、シルバー人材センターについて、「地域の皆さんの理解度はどうだろうか。」をテーマとし、地域ニーズの把握として、毎月開催される自治会長会（R1/11/1）で、シルバー事業について説明し理解を求めた。今回は、一方的に説明し各自治会の反応を待っていたがあまり効果はなかった。今後の課題としては、より具体的に地域を絞り込みシルバー事業について説明し理解を求めていく必要があると思慮する。

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に適した就業を開拓するとともに、入会の促進を行った。

- ア 就業機会開拓推進員が一般家庭・事業所等を訪問し、就業機会の拡大を図った。
（事業所・一般家庭等 708件）※R2/2～3月は、新型コロナウイルス感染予防対策として戸別訪問での就業拡大は控えることとした。
- イ 会員がチラシ配付をして会員確保・就業機会の拡大を図った。
- ウ 就業現場周辺で、のぼり旗を設置し、就業開拓、入会促進を図った。
- エ 就業機会開拓推進員が発注者を訪問し、再受注（リピーター対策）を図った。

⑤ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に定期的に入会説明会（毎月15日）を行うと共に、必要に応じた臨時の入会説明会（個別を含む）等を実施し、高齢者からの相談に対応した。また、センターの基本理念及び趣旨並びに事業内容を紹介し、入会の促進を図った。（入会説明会21回、75名参加・47名入会）

⑥ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、一般市民と連携して社会参加活動を実施した。

ア シルバー事業普及啓発促進月間（10月）行事の一環として、市総合公園清掃、市社協前から市中央公民館前の黒木剪定、市役所前広場、豊見城団地の幹線道路の清掃活動（ボランティア）を実施した。（延べ114人日参加）

イ 交通安全街頭指導のボランティア活動を夏期・秋期・冬期の年3回実施した。（延べ157人日参加）

ウ 市生涯学習フェスティバルでボランティア活動として参加し、子ども達や来場者に豆腐づくりの体験学習の機会を提供した。（延べ25人日参加）

（4）組織・事務局体制の整備強化

① 理事会を定期的開催（11回）し、組織の活性化及び運営体制の充実強化に努めた。

② 健全かつ効率的な事業運営を図るため、事務事業の改善に努めた。

③ 事務局会議を開催（毎週1回）し、情報の共有化・相互連携の徹底化に努めた。

④ 会員、発注者及び役職員に対してガイドラインの周知徹底に努めた。

⑤ 県連合が実施する各種研修会等に参加し、職員の資質の向上に努めた。

⑥ 九シ協が実施する研修会に参加し、職員の資質の向上に努めた。